

各二次保健医療圏・政令市の 課題と施策の方向性

本県では11の二次保健医療圏を設定しており、各地域の特性、課題等に応じた施策を進めていきます。

また、各保健福祉事務所では本計画の策定に合わせ、「地域保健医療推進指針」を作成することにより、地域の特性に応じた課題の解決に向けた取組みを進めていきます。

さらに、各政令指定都市では市で独自に計画を作成するなどして、地域の特性に応じた課題の解決に向けた取組みを進めていきます。

ここでは、「地域保健医療推進指針」などの内容をもとに、各二次保健医療圏の現状・特性、重点課題及び施策の方向性について、その概略を記載します。

項目	圏域名	市区町村名
第1節 横浜	横浜北部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区
	横浜西部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
	横浜南部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区
第2節 川崎	川崎北部	高津区、宮前区、多摩区、麻生区
	川崎南部	川崎区、幸区、中原区
第3節 相模原	相模原	相模原市
第4節 横須賀・三浦 (三浦半島地区)	横須賀・三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
第5節 湘南東部	湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
第6節 湘南西部	湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
第7節 県央	県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
第8節 県西	県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

第1節 横浜

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

横浜地域の人口は、平成24年1月1日現在で3,691,240人であり、神奈川県の人
口の40.7%に当たります。年齢区分別人口の構成割合では、神奈川県全体の構成割
合に比べ大きな差は見られません。

区分	人口(人)				世帯数 (世帯)	高齢者独 居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
横浜地域	3,691,240	483,380 (13.2%)	2,427,891 (66.2%)	754,059 (20.6%)	1,595,139	132,016

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注) 人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注) 人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を
除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

横浜地域の病院病床数は、人口10万人当たりで746.3床であり、神奈川県全体よ
り66.8床少なくなっています。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1
横浜地域	135	27,528	2,857	1,173	2,056	1,407
	3.7	746.3	77.5	31.8	55.7	38.1

出典：神奈川県衛生統計年報

(注) 施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

横浜地域の医療従事者数は、人口10万人当たりで神奈川県全体と比較すると、保
健師、看護師、准看護師で下回っています。(単位 人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
横浜地域	7,477	3,209	8,479	588	829	20,884	4,026
	202.7	87.0	229.9	15.9	22.5	566.2	109.1

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注) 従事者数はH22.12.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対従事者数

2 地域における重点課題

(1) 進展する超高齢社会への対応

「2025年問題」に象徴されるように、今後10数年間で高齢化が一層進展し、後期高齢者が大幅かつ急速に増加することが見込まれており、医療などのサービス提供が不足することが懸念されます。

(2) 総合的な疾病対策の推進

がんや精神疾患等の主要な疾病について、予防や正しい知識の普及啓発から検診、医療提供、地域生活への復帰や社会経済活動への参加支援といった総合的な対策を推進する必要があります。

(3) 市民の生涯にわたる主体的な健康づくりへの支援

超高齢社会が進展していく中で、いくつになってもできるだけ自立した生活を送ることができる市民を増やし、健康寿命を延ばしていく必要があります。

3 施策の方向性

(1) 進展する超高齢社会への対応

既存の資源を最大限活用しつつ、地域医療連携の推進や看取りを含む在宅医療の充実を図り、居宅において医療と介護が一体的に提供される体制を整備します。

また、今後必要となる、急性期を過ぎた患者や慢性期で継続的な医療対応を必要とする患者に対する医療機能の整備について検討するなど、「2025年問題」への対応の足がかりとなる施策を進めていきます。

(2) 総合的な疾病対策の推進

がんについて、新たに、働く世代のがん対策や小児がん対策に取り組みます。

また、精神疾患について、普及啓発・人材育成の検討を行うほか、精神科救急の患者受入力の強化や回復後の社会経済活動への参加促進を図るなど、総合的な疾病対策を推進します。

(3) 市民の生涯にわたる主体的な健康づくりへの支援

年齢や就学・就業の有無など、ライフステージに応じた生活習慣病予防対策を行うとともに、自殺対策やこころの健康に関する電話相談など、メンタルヘルス対策を推進します。

横浜市は、保健医療については、「よこはま保健医療プラン2013」を独自に作成し、詳細を記載していますので、参照してください。

第2節 川崎

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

川崎地域の人口は、平成24年1月1日現在で1,431,409人であり、神奈川県の人
口の15.8%に当たります。年齢区分別人口の構成割合では、生産年齢人口が69.0%
で神奈川県全体の構成割合よりも3.3ポイント高くなっています。

区分	人口(人)				世帯数 (世帯)	高齢者独 居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
川崎地域	1,431,409	186,306 (13.1%)	987,878 (69.7%)	243,122 (17.2%)	666,646	47,206

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注) 人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注) 人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を
除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

川崎地域の病院数は、人口10万人当たりで2.9施設あり、神奈川県全体より少
なくなっています。また、一般診療所数及び歯科診療所は、人口10万人当たりではそ
れぞれ62.5及び50.6施設あり、いずれも神奈川県全体より少なくなっています。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1
川崎地域	41	10,177	891	385	721	513
	2.9	713.9	62.5	27.0	50.6	36.0

出典：神奈川県衛生統計年報

(注) 施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

川崎地域の医療従事者数は、人口10万人当たりで神奈川県全体と比較すると、医
師・歯科医師・薬剤師で下回っています。(単位 人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
川崎地域	2,750	987	2,407	287	324	7,765	1,473
	192.9	69.2	168.9	20.1	22.7	544.7	103.3

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注) 従事者数はH22.12.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対従事者数

2 地域における重点課題

(1) 総合的な救急医療体制の整備・充実

市内中部地区における年少人口の増加と、市内全区における老年人口の増加の中で、総合的な救急医療体制の整備・充実が求められています。

(2) 在宅医療の推進

介護が必要となった場合、「自宅で暮らしたい」と回答する市民が57.0%ある中で、在宅医療を推進する体制づくりが求められています。

(3) 災害時医療と健康危機管理の推進

東日本大震災で明らかになった災害時医療の課題解決とともに、新型インフルエンザなどの感染症対策の充実が求められています。

3 施策の方向性

(1) 総合的な救急医療体制の整備・充実

中部小児急病センターの検討をはじめ、小児・周産期救急医療体制の充実、重症患者救急対応病院の運用、さらに後方機能として療養病床の整備支援や在宅医療の推進など、救急病院等の「入口」から「出口」までの円滑な流れの確保をめざした、総合的な救急医療体制の整備・充実を推進します。

(2) 在宅医療の推進

医療機関の連携や、保健・医療・福祉（介護）の連携、患者への適切な情報提供などにより、切れ目ない在宅ケアサービスを提供し、できる限り住み慣れた地域で在宅を基本とした生活の継続を可能とする地域包括ケアシステムの確立をめざします。

(3) 災害時医療と健康危機管理の推進

市地域防災計画の検証を通じて、災害時の医療救護体制をより実効性のあるものとするよう取り組みます。また、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新たな行動計画の策定、医薬品等の備蓄、予防接種の体制整備のほか、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の殿町戦略拠点に整備する市健康安全研究所では、市民や医療機関などに対し、新型インフルエンザなどの感染症情報を迅速・的確に発信する体制整備に取り組みます。

川崎市では、市民の健康回復を支援するための計画として、独自に「川崎市地域医療計画」を策定していますので、併せて御覧ください。

第3節 相模原

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

相模原地域の人口は、平成24年1月1日現在で 719,791人であり、神奈川県の人
口の7.9%に当たります。年齢区分別人口の構成割合では、生産年齢人口が67.0%
で神奈川県全体の構成割合よりも0.9ポイント高くなっています。

区分	人口(人)				世帯数 (世帯)	高齢者独 居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
相模原 地域	719,791	92,899 (13.0%)	479,053 (67.0%)	143,420 (20.0%)	306,928	21,133

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注) 人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注) 人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を
除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

相模原地域の病院数は、人口10万人当たりで4.9施設あり、神奈川県全体より多
くなっています。また、一般診療所数及び歯科診療所は、人口10万人当たりではそ
れぞれ53.7及び48.2施設あり、いずれも神奈川県全体より少なくなっています。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1
相模原 地域	35	7758	385	261	346	268
	4.9	1081.2	53.7	36.4	48.2	37.3

出典：神奈川県衛生統計年報

(注) 施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

相模原地域の医療従事者数は、人口10万人当たりで神奈川県全体と比較すると、
医師・保健師・看護師・准看護師では上回っていますが、歯科医師・薬剤師・助産
師では下回っています。(単位 人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
相模原 地域	1,693	421	1,531	215	134	4,763	1,236
	235.9	58.7	213.4	30.0	18.7	663.8	172.3

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注) 従事者数はH22.12.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対従事者数

2 地域における重点課題

(1) 市民が主体の健康づくりの推進

市民自らが健康づくりに取り組むとともに、それを支援する保健と医療の連携を強化する必要があります。

(2) 身近な地域における医療体制の充実

市民が住み慣れた地域で充実した生活を送るため、地域医療、救急医療、災害時医療の医療体制の充実を図る必要があります。

(3) 安全・安心の衛生管理の推進

健康被害を防止し、安全に、安心して生活できるように、健康危機管理体制を強化するとともに、食品衛生、環境衛生の充実を図る必要があります。

3 施策の方向性

(1) 市民が主体の健康づくりの推進

健康の保持・増進のための活動への支援を強化し、その活動が効果的に推進されるよう、市民主体の組織活動や人材の育成・充実を図ります。

(2) 身近な地域における医療体制の充実

かかりつけ医・歯科等の定着を促進するとともに、在宅療養者に対する在宅医療提供体制の充実を図ります。

また、救急医療体制の維持・充実や、災害時の迅速かつ適切な医療救護の提供体制、保健衛生体制の充実に努めます。

(3) 安全・安心の衛生管理の推進

市民の生命と健康の安全を脅かす事態に対して、迅速かつ適切に情報提供を行うとともに衛生管理の充実に努めます。

第4節 横須賀・三浦（三浦半島地区）

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

人口は、2012（平成24）年1月1日現在で、728,552人であり、神奈川県の人口の約8.0%に当たります。年齢区分別人口の構成割合では、老年人口が26.9%と県内で最も高齢化が進んでおり、高齢者世帯（65歳以上の世帯員がいる世帯）の占める割合も43.8%と高くなっています。

区分	人口（人）				高齢者世帯数 (対総世帯数)	高齢者独居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	1,209,217 (31.6%)	308,463
横須賀・三浦	728,552	88,652 (12.2%)	443,555 (60.9%)	196,231 (26.9%)	127,142 (43.8%)	31,807

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

（注）人口はH24.1.1現在、高齢者世帯数・高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

（注）人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

人口10万人当たりの施設数・病床数ともに、県全体の数値を上回っていますが、分娩を取扱う産科・産婦人科病院数では下回るなど、診療科目によっては、不足しています。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所 施設数	薬局 施設数	(参考)分娩取扱い産科又は産婦人科病院数
	施設数	病床数	施設数	病床数			
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444	64
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1	0.7
横須賀・三浦	30	6,317	585	388	444	319	4
	4.1	862.9	79.9	53.0	60.7	43.6	0.5

出典：神奈川県衛生統計年報

（注）施設数（薬局以外）・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

（注）表中の上段は実数、下段は人口10万当たりの施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

人口10万人当たりの医師数・薬剤師数は、県全体の数値を下回っており、その他の医療従事者数は、県全体の数値を上回っていますが、看護職は、看護職員需給見通し調査の推計から見ても、依然として不足している状況にあります。

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
横須賀・三浦	1,410	799	1,502	190	180	4,429	1,108
	192.6	109.1	205.2	26.0	24.6	605.0	151.4

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

（注）従事者数はH22.12.31現在

（注）表中の上段は実数、下段は人口10万当たりの従事者数（単位：人）

2 地域における重点課題

(1) 高齢者が住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり

高齢者世帯や身体機能の低下した高齢者等が増加していることなどから、在宅医療体制の充実をはじめとした、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるしくみづくり(総合的な地域ケアシステムの充実)が求められています。

(2) 安心して出産・育児ができる環境づくり

当地区全体では、年少人口、生産人口ともに低下の一途を辿っており、出生率も低い水準で推移しています。安心して出産・育児ができる環境づくりに保健医療面でも取り組む必要があります。

(3) 生涯を通じた健康づくり

心身ともに健康的な生活習慣の実践を浸透・定着させていくために、地域及び職場において、繰り返し様々な機会を捉えて動機付けをし、さらに行動変容につなげていく支援体制の整備が求められています。

3 施策の方向性

(1) 高齢者が地域で安心して暮らせるしくみづくり

「かかりつけ医」等の普及・定着や「在宅療養」「在宅看取り」という選択肢を知る機会を提供するための広報や意識啓発、在宅医療を支える関係機関の連携の促進と多職種協働による在宅医療の支援体制の整備・充実、在宅療養者を支える医療関係者、福祉関係者等の人材確保と資質の向上、地域住民等の参加・連携による「地域包括ケア」の充実などを進めます。

(2) 安心して出産・育児ができる環境づくり

思春期保健対策、女性の健康づくりの充実や産婦人科医をはじめとした周産期医療を担う人材の確保・定着対策などの周産期医療体制の充実のほか、子どもの心とからだの健全な発達及び育児不安を抱える者への支援、小児救急医療体制の安定的な確保、既存の医療資源の有効活用など小児の保健医療対策の充実などを進めます。

(3) 生涯を通じた健康づくり

生活習慣病予防対策、メンタルヘルス対策、歯科保健対策の推進を若年層から取り組むとともに、地域保健、学校保健及び職域保健の連携体制を強化するなど、「かながわ健康プラン21」を推進するとともに、学校保健・職域保健の推進や健康寿命の延伸など、健康づくり対策を推進します。

第5節 湘南東部

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

湘南東部地域の人口は、平成24年1月1日現在で698,313人であり、神奈川県
の人口の約7.7%に当たります。年齢区分別人口の構成割合は、神奈川県全体と
ほぼ同様ですが、年少人口が13.9%で0.8ポイント高くなっています。

区分	人口(人)				世帯数 (世帯)	高齢者独 居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
湘南東部 地域	698,313	97,208 (13.9%)	454,942 (65.2%)	145,464 (20.9%)	288,134	22,520

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注) 人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注) 人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を
除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

湘南東部地域の病院の病床数は、人口10万人当たり約677床で、神奈川県全体よ
り少なくなっています。一方、一般診療所及び歯科診療所数は、人口10万人当たり
では、いずれも神奈川県全体より多くなっています。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1
湘南東部 地域	23	4,688	535	296	416	278
	3.3	677.1	77.3	42.7	60.1	40.1

出典：神奈川県衛生統計年報

(注) 施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

湘南東部地域の医療従事者は、人口10万人あたりを神奈川県全体と比較すると、
保健師を除く全ての職種で少なく、特に医師、看護師が下回っています。

(単位 人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
湘南東部地 域	1,143	494	1,430	151	142	3,251	762
	165.0	71.3	206.5	21.8	20.5	469.4	110.0

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注) 従事者数はH22.12.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対従事者数

2 地域における重点課題

(1) 地域医療提供体制の整備・充実

二次救急医療体制の再構築や、地域連携クリティカルパスの推進、精神疾患対策等とともに、看護師等の地域医療を支える人材の確保が求められています。

(2) 在宅療養生活を支える地域包括ケアの構築

認知症患者、がん患者等の在宅療養生活を支える地域包括ケアを実現するためのネットワークの構築が求められています。

(3) 子どものいのちと健康を守る取組みの推進

地域社会全体で子どものいのちと健やかな成長を育む取組みを推進する必要があります。

(4) 健康長寿をめざした健康づくりの推進

がんの早期発見やこころの健康づくりと自殺予防、介護・認知症予防や口腔機能維持向上の重要性が増しています。

(5) 東日本大震災を踏まえた災害時医療体制等の整備

大規模災害時の医療や救護の体制づくりについて、行政や医療機関、福祉施設等が課題を共有し、対策を強化する必要があります。

3 施策の方向性

(1) 地域医療提供体制の整備・充実

地域の行政機関や医療関係機関等が連携して、状況に応じた二次救急医療提供体制の構築や、疾病ごとの地域連携クリティカルパスの推進、精神疾患対策の検討等を進めます。また、湘南看護専門学校での看護人材養成等の取組みを推進します。

(2) 在宅療養生活を支える地域包括ケアの構築

医療関係者、地域包括支援センター、介護サービス事業者、地域団体、保健・医療・福祉関係NPO等の連携による地域包括ケアシステムの構築や、在宅でリハビリテーションが継続して提供されるような環境づくりを図ります。

(3) 子どものいのちと健康を守る取組みの推進

児童虐待のリスクを周産期からの確に把握し、早期の対応を図るとともに、親子のふれあいブラッシング等の子育て支援事業を通し、児童虐待が発生しない地域づくりを目指します。また、中高生等を対象に、喫煙や薬物乱用、違法ドラッグ等の健康被害について理解を促す啓発に取り組みます。

(4) 健康長寿をめざした健康づくりの推進

健康診断やがん検診の受診率向上等、がんの早期発見にかかる取組みの充実を図るとともに、こころの健康づくりや自殺予防の取組みを推進します。

また、認知症予防、口腔ケアを含めた介護予防について取組みを進めます。

(5) 東日本大震災を踏まえた災害時医療体制等の整備

医療機器を装着している在宅療養者や障害者等の避難体制づくりや、地域特性を考慮した藤沢市北部における災害医療拠点病院の整備等、災害時の医療救護体制の強化に向けて、取組みを進めます。また、平常時から県・市町等の災害時医療にかかる計画等の情報を共有し、訓練等を通じて災害対応力の向上に努めます。

第6節 湘南西部

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

湘南西部地域の人口は、平成24年1月1日現在593,653人で、神奈川県の人口の6.6%に当たります。年齢区分別人口の構成割合では、老年人口が22.1%と、神奈川県全体と比較して1.4ポイント高く、高齢化が進行しています。

区分	人口(人)				世帯数 (世帯)	高齢者独居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
湘南西部 地域	593,653	76,142 (12.9%)	385,540 (65.1%)	130,639 (22.1%)	240,506	18,117

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注) 人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注) 人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

湘南西部地域の病院、一般診療所及び歯科診療所数は、人口10万人当たり3.7、64.9及び50.5施設と、いずれも神奈川県全体を下回りますが、病床数では上回っています。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1
湘南西部 地域	22	6,446	386	216	300	230
	3.7	1,084.2	64.9	36.3	50.5	38.7

出典：神奈川県衛生統計年報

(注) 施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

湘南西部地域の医療従事者数は、人口10万人当たりで神奈川県全体と比較すると、医師・保健師・助産師・看護師・准看護師で上回り、歯科医師・薬剤師で下回っています。

(単位 人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
湘南西部 地域	1,386	414	1,241	147	146	4,419	866
	233.1	69.6	208.7	24.7	24.6	743.3	145.7

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注) 従事者数はH22.12.31現在

(注) 表中の上段は実数、下段は人口10万対従事者数

2 地域における重点課題

(1) 地域に根ざした健康増進の総合的な推進

高齢化や疾病構造が変化する中、地域住民の健康を増進するため、身体とこころの健康づくりや疾病予防を積極的に推進することが必要です。

(2) 地域の関係機関の連携等による地域医療の推進

保健・医療・福祉の連携を通じて、「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」保健医療供給体制を整備する必要があります。

(3) 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応

地域における様々な健康問題に対して、保健・医療・福祉の連携による総合的な対策の推進とそのための人材育成が必要です。

(4) 健康危機管理体制の充実

健康で安心・安全な生活ができる地域づくりのための健康危機管理体制の充実を、関係機関との連携や住民との情報共有により進める必要があります。

3 施策の方向性

(1) 地域に根ざした健康増進の総合的な推進

健康寿命の延伸、生活習慣病の発症や重症化の予防、こころの健康づくりの推進等に向けて、地域の企業との連携を推進するなど、「かながわ健康プラン21」の理念に基づく取組を強化します。

(2) 地域の関係機関の連携等による地域医療の推進

地域住民の生活の質の向上及び地域医療の確保に向けた医療体制の充実、保健・医療・福祉などの多職種連携による地域包括ケアシステムの構築、災害時の医療救護や保健活動体制の整備・充実を図ります。

(3) 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応

難治性疾患、エイズ、不妊症・不育症、児童・高齢者・障害者への虐待防止対策等様々な健康問題に対し、保健・医療・福祉が連携して取り組むと共に、従事する人材を育成・確保します。

(4) 健康危機管理体制の充実

健康危機問題について、広く普及啓発すると共に、関係機関との連携や住民とのリスクコミュニケーションを図り、健康危機管理体制の充実に取り組めます。

第7節 県央

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

県央地域の人口は約84万人で、県人口の約9.3%に当たります。

年齢区分別人口は、県平均と比べ、年少人口と生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が少ない状況にあります。

区 分	人口総数	人口（人）			世帯数 (世帯)	高齢者独居世帯数 (世帯)
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
県央地域	840,657	113,673 (13.6%)	557,078 (66.6%)	165,175 (19.8%)	347,080	22,730

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注) 人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注) 人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

県央地域の医療施設数は、人口10万人当り数で県平均と比べ、病院は若干多いものの、一般診療所、歯科診療所は少なくなっています。

区 分	病 院		一般診療所		歯科診療所		薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	2	3,444
(人口10万対)	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	0.0	38.1
県央地域	34	6,445	508	358	395	1	259
(人口10万対)	4.1	768.7	60.6	42.7	47.1	0.1	30.9

出典：神奈川県衛生統計年報

(注) 施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(3) 医療従事者の状況

県央地域の医師数、歯科医師数、看護師数は、人口10万人当り数で見ると、いずれも県平均より少ない状況です。

(単位 人)

区 分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
(人口10万対)	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
県央地域	1,100	461	1,544	193	136	3,822	1,139
(人口10万対)	131.2	55.0	184.1	23.0	16.2	455.8	135.8

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注) 従事者数はH22.12.31現在

2 地域における重点課題

(1) 救急医療対策の推進

県央地域では、一部の地区での救急輪番体制維持が困難な状況にあり、救命救急センターもないことから、救急搬送はより厳しい条件下にあります。

(2) 健康危機から住民を守る対策の推進

県央地域では、広域災害が発生した際の健康危機に関する連携体制や、感染症対策について、地域で取り組む必要があります。

(3) 地域における疾患ごとの医療連携

県央地域でも死因別死亡率の上位を占める、がん・急性心筋梗塞・脳卒中に加え、糖尿病についても、切れ目のない医療の提供が求められています。

(4) 地域が一体となって取り組むメンタルヘルス対策

県央地域では、地域の関係機関が相互に連携して、生涯を通じたメンタルヘルス対策に取り組むことが重要です。

(5) 青壮年期における健康づくり、生活習慣病対策

県央地域では、職域保健を担う事業所等と、地域保健を担う市町村等が協力し、青壮年期から働き盛りの人々の健康づくりを図る必要があります。

(6) 保健・医療・福祉をつなぎ、地域で暮らす人々の生活の質（QOL：Quality of Life）を高める取組み

県央地域では、医療と介護の連携により、サービスが適切に提供できる体制づくりや、援助が必要な人々に対してQOLを高める支援が必要です。

3 施策の方向性

(1) 救急医療対策の推進

関係機関が連携・協議を行い、救急輪番体制に空白が生じない取組みを継続するとともに、より安定的な救急体制の構築を進めていきます。

(2) 健康危機から住民を守る対策の推進

災害発生時の健康危機管理や感染症対策について、各関係機関は相互に連携し、発生時に備えるとともに、地域での取組みを推進します。

(3) 地域における疾患ごとの医療連携

4つの疾病について、関係機関は連携しながら、生活習慣病予防や、切れ目のない医療提供のための取組みを順次進めていきます。

(4) 地域が一体となって取り組むメンタルヘルス対策

ゲートキーパーの養成、関係機関による地域ネットワーク会議、啓発や相談等により、自殺予防と生涯を通じたメンタルヘルス対策に取り組めます。

(5) 青壮年期における健康づくり、生活習慣病対策

職域保健関係機関と連携し、事業所に対する健康教育やがん検診の受診促進等を実施し、働き盛りの健康づくりや生活習慣病予防を促進します。

(6) 保健・医療・福祉をつなぎ、地域で暮らす人々のQOLを高める取組み

医療と介護が切れ目なく提供できる体制を築くため、新たな地域包括ケアシステムを検討するとともに、人々のQOLを高める取組みを進めます。

第8節 県西

1 地域の現状及び特性

(1) 人口及び世帯

県西地域の人口は、平成24年1月1日現在で356,642人であり、神奈川県の人
口の3.9%に当たります。年齢区分別人口の構成割合では、老年人口が25.4%で神
奈川県全体の構成割合よりも4.7ポイント高くなっています。

区分	人口(人)				世帯数 (世帯)	高齢者独 居世帯数 (世帯)
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)		
神奈川県	9,060,257	1,182,523 (13.1%)	5,957,088 (66.1%)	1,868,418 (20.7%)	3,876,258	308,463
県西地域	356,642	44,263 (12.4%)	221,151 (62.2%)	90,308 (25.4%)	139,570	12,934

出典：神奈川県年齢別人口統計調査、神奈川県人口統計調査、国勢調査

(注)人口、世帯数はH24.1.1現在、高齢者独居世帯数はH22.10.1現在

(注)人口の総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分別構成比は年齢不詳を
除いて算出している。

(2) 医療施設の状況

県西地域の病院数、一般診療所数は、人口10万人当たりで6.4及び72.4施設あり、
神奈川県全体より多くなっています。また、歯科診療所は、人口10万人当たりで
52.9施設あり、神奈川県全体より若干少なくなっています。

ただし、これらの数値については、県西地域の特性として、人口当たりの面積
が大きいことを考慮する必要があります。

区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	施設数
神奈川県	343	73,574	6,407	3,226	4,868	3,444
	3.8	813.1	70.8	35.7	53.8	38.1
県西地域	23	4,215	260	149	190	170
	6.4	1,173.9	72.4	41.5	52.9	47.3

出典：神奈川県衛生統計年報

(注)施設数(薬局以外)・病床数はH22.10.1現在、薬局の施設数はH23.3.31現在

(注)表中の上段は実数、下段は人口10万対施設数、病床数

(3) 医療従事者の状況

県西地域の医療従事者数は、人口10万人当たりで神奈川県全体と比較すると、
医師、歯科医師、助産師の数が下回っています。

また、人口10万人当たりで全国と比較すると、看護師、准看護師の数も大きく
下回っています。(人口10万人当たり 全国 看護師744.0人、准看護師287.5人)

(単位 人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
神奈川県	17,676	7,057	19,610	1,899	1,939	51,503	11,335
	195.4	78.0	216.7	21.0	21.4	569.2	125.3
県西地域	590	260	869	128	48	2,170	725
	164.3	72.4	242.0	35.6	13.4	604.4	201.9

出典：神奈川県衛生統計年報

厚生労働省「保健師・助産師・看護師等業務従事者届」

(注)従事者数はH22.12.31現在

(注)表中の上段は実数、下段は人口10万対従事者数

2 地域における重点課題

(1) 地域医療システムの整備と保健・医療・福祉の連携基盤づくり

県西地域では人口当たりの面積が広く、住民に適切な保健・医療・福祉サービスを提供するため、それらの社会資源の効率的な運用が求められています。

(2) 生涯を通じた健康づくり

県西地域では、若年人口の減少及び急速な高齢化の伸展がみられ、さらなる育児支援、生活習慣病予防、健康づくり、健康寿命延伸の取組みが必要です。

(3) 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応

うつ病や認知症対策、歯及び口腔保健の向上、医薬品の安全性の向上など、地域住民の暮らしにかかわるニーズへの対応がより一層求められています。

3 施策の方向性

(1) 地域医療システムの整備と保健・医療・福祉の連携基盤づくり

救急医療体制など地域の医療基盤の充実を目指すとともに、保健・医療・福祉の連携の強化及び地域包括ケアの推進、質の高い保健・医療・福祉人材の育成・確保に取り組みます。

(2) 生涯を通じた健康づくり

特定健康診査等の受診率の向上や普及啓発により、生活習慣病の予防に努めるとともに、母子保健から学校保健、職域保健、高齢者保健対策などライフステージに応じた保健対策に取り組みます。

(3) 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応

自殺対策などの精神保健対策や認知症対策、感染症対策等に取り組むとともに、歯及び口腔の健康づくりや医薬品の安全性の向上、食の安全をはじめとした健康で安心できる環境づくりに努めます。